

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 3 年 4 月 30 日

事業名称		職員福利厚生事業 [労働安全衛生事業]						
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 1	一般管理費	事業番号	5
事業の種別		<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし) <input type="checkbox"/> 課内庶務等 <input type="checkbox"/> 休止したもの <input type="checkbox"/> 廃止したもの						
担当部署・課長名		職員 課 給与厚生		係		課長名		岩本 尚史
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号		行 - 2
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現						総合計画書 (ページ)		122
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)				
	正規職員、再任用職員			正規職員、再任用職員の数				
	→							
2 指標の推移	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)				
	労働安全衛生法第66条に基づき、職員に定期健康診断を受診させる			全職員に占める定期健康診断を受診した職員数(人間ドッグ受診後に検査項目を提出した者を含む)				
	→							
3 経費	③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)				
	対象職員ごとに受診日時を指定して、定期健康診断の受診を円滑に運営した。			定期健康診断を受診した職員数(人間ドッグ受診後に検査項目を提出した者を含む)				
	→							
		単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		
			平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	
対象指標	①の数値	人	498	500	501			
成果指標	②の数値	%	93%	89%	88%			
目標	②の目標値				100	100	100	
目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。)								
活動指標	③の数値	人	464	443	443			
3 経費	事業費(実績)		円	4,607,783	4,606,638	4,606,638	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
	財源	一般財源	円	4,607,783	4,606,638	4,606,638		
		特定財源	円					
	(うち受益者負担)		円					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.8	0.8	0.8		
		所要人数(再任用)	人					
職員人件費(再任用以外)		円	6,602,400	6,595,200	6,704,000			
職員人件費(再任用)		円						
事業費+人件費		円	11,210,183	11,201,838	11,310,638			
4 課題	今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く 労働安全衛生法第66条に基づき、事業者に義務付けられた定期健康診断を実施している。 受診率は高いが、受診をしていない職員もいる。 保険者インセンティブ改正により、健診受診率(40歳以上の特定健診対象者に限る)が下がると共済組合へ支払う保険料が増額する可能性もあることから、このことも職員へ周知していく必要がある。							
5 今後の方向性	仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く 全職員が健康診断(又は人間ドッグ)を受診できるように勧奨を行う。 人間ドッグに関しては、共済組合の助成、職員互助会の補助等があることからより丁寧に制度周知を行う。							